

# ひょうご不登校対策プロジェクトの拡充

増加する不登校児童生徒への対策として、令和5年度より全県一丸となった「ひょうご不登校対策プロジェクト」を推進している。令和6年度は「学校内の安心できる居場所(校内サポートルーム)」の設置に向けた支援に重点的に取り組む。

## 新 不登校児童生徒支援員の配置

校内サポートルームにおける不登校児童生徒への個に応じた学習や生活の支援等を行う「不登校児童生徒支援員」の配置を支援

[事業スキーム]

県の市町への補助事業

- 配置校
 

中学校:	全中学校の各校に1人(252校)	} 計407校
小学校:	市町毎に4校に1人(155校)	
(不登校児童生徒数1校あたり平均人数換算) 中学校26人：小学校6人 = 4：1		

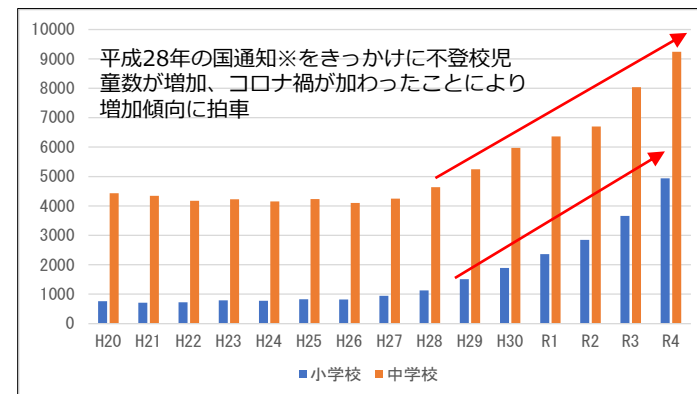
※市町の判断により配置学校を選択

- 配置時間 週20時間[4時間/日×5日間]×35週
- 報酬単価 1,500円/時間
- 負担割合 県：市 = 1：1 (1/2補助)
- 支援員の想定 地域人材を登用(教員免許不問)

配置校の割合は、令和5年度25.3%から令和6年度50.0%に

※政令指定都市立等除く

【不登校児童生徒数の推移(県内小中学校)】



※不登校児童生徒への支援の在り方について(文科省通知)

【県内不登校児童生徒数等(R4文科省調査)】

区分	1校あたり平均 不登校児童生徒数
中学校	26人
小学校	6人
平均	12人

【県内市町組合のサポートルームの設置状況(R5.10月調査)】

サポートルームの設置			指導員等の配置 (市町負担)
全校	一部学校	合計	
小18市町組合 中35市町組合	小21市町組合 中7市町組合	小39市町組合 中42市町組合	26市町組合 [61.9%]
小171校 中152校	小216校 中87校	小387校(68.3%) 中239校(94.8%)	小94校(16.6%) 中113校(44.8%)

※ ( )は全小学校567校、全中学校252校に対する割合

※ [ ]は全42市町組合に対する割合  
神戸市除く